

越谷市議会 12月定例会報告



山田 ゆう子

一般質問

保育所・小中学校のせっけん利用、すすんでる!?

質問 香害や化学物質過敏症を啓発する観点から、子どもたちが使用する保育所・小中学校で使う洗剤を、石油由来の合成洗剤ではなく、生分解性が高く人体にも環境にも優しい天然の油脂で作られた「せっけん」全て切り替えることはできないか。



答弁 公立保育所の手洗いや洗濯には以前からせっけんを使用している。保育所の食器洗いや清掃には合成洗剤を使用しているが、質問を受け、手肌や環境に優しい製品への切替えを検討する。小中学校では合成洗剤も使用されているが、人体や環境に配慮した製品を選ぶことについて機会を捉えて各学校に周知していく。

一般質問

～持続可能な農業を支える～田んぼダムの推進を

質問 気候変動の影響により洪水は発生頻度の増加が見込まれていて、従来の治水対策では防ぎ切れない水害リスクの増大が危惧されている。田んぼダムは治水対策の一つと考えられるが「ICT装置を活用した水田ポテンシャル調査」とはどんな内容か。

答弁 新方地区船渡・大松地内の水田において令和7年の11月まで実証実験を予定。一定の貯留効果は確認できたが課題があることから継続し、水田の持つ多面的機能を有効に活用していく。



清水 泉

一般質問

産後ドゥーラ養成に対する補助を

質問 産前産後の母親や家族に寄り添うスペシャリストである産後ドゥーラの社会的ニーズの高まりをうけ、他市ではその育成に補助を行っている。越谷市でも産後ドゥーラ養成に対し補助をする必要があると思うが、考えは。



答弁 産後ドゥーラは、産前産後の女性の心身のケアや家族、育児のサポートを行う専門家であるが、市内在住の有資格者が1名であり人材の確保が課題である。今後、他自治体の取組を注視し、調査研究を進める。国庫補助事業である子育て世帯訪問支援事業について、同様の支援が可能であることから実施について検討を進める。

大田 ちひろ

コラム 赤ちゃんが産まれる、産まれた全ての家庭に支援を

私は産後ドゥーラ*という仕事をしています。70時間以上の研修を受けた認定産後ドゥーラは越谷市ではまだ私一人で、コロナ禍以降に急増したニーズに対応しきれないのが実情です。



なぜニーズが高いかというと、今は出産時に実家等に頼ることが難しい人が多く、コロナ禍以降は人との接触も難しく孤立を深めていることから誰かにサポートしてほしいということだと思います。産後のママは一見元気そうに見えても寝不足や産後のホルモンの関係で心身に非常に疲れています。妊娠中および産後一年未満の女性の死因1位が自死ということからも生きづらさを如実に表していると思います。



ママが悲鳴を上げる前にどんな境遇の人にも専門家のサポートを届けることで産後うつや自殺、虐待、夫婦の危機、ヤングケアラー依存などを乗り越えることができていると感じています。国によっては出産時からドゥーラが付き添い、退院サポートや産後数週間は毎日訪問ケアが受けられるなど、家族をまるごとサポートすることで様々な危機から守るという予防の観点が充実しています。初期投資をすることで、その後の余計な予算を減らせるというメリットもあるようです。

こうしたニーズに対応するためには専門家の養成が欠かせないと思い、12月議会で大田議員に質問してもらいました。残念ながら明確な補助の答弁は得られませんでした。今後

の動向を注視したいと思います。

こども家庭庁がうたっている「子育て世帯訪問支援事業」もありますが、訪問する人の専門性も大切だと感じますし、対象者も特定の方に限った内容となっています。住む町によって受けられる恩恵が変わるのではなく、これから産まれてくる全ての子どもたちを社会全体で育てるという意味でも、全ての家庭に支援が届くように願っています。



ネット会員 産後ドゥーラあきつ

*ドゥーラとは、ギリシャ語で「他の女性を助ける、経験豊かな女性」のこと

お手数ですが
切手をお貼り
ください

343-0023

越谷市東越谷1-5-17-1F

越谷市民ネットワーク行

差し支えなければ連絡先をご記入ください

住所

氏名

電話番号



ネットの視点 なぜ? 教育長人事否決

昨年末で任期満了となった前教育長の後任となる新しい教育長の任命議案が、賛成10反対21の賛成少数で否決されました。ネットは新教育長に提案されていた方について、

市内校長時代にいじめ撲滅や不登校支援に尽力していた点を評価し賛成しましたが、反対した会派については、人事議案では討論を行う慣例がないため反対理由が明らかにならず非常に残念です。議案が否決されたため、議案が再提案されるまで教育長は不在となり、教育長業務は職務代理者が行うこととなります。